







































































































久部良バリ Kuburabari

久部良村の北方、海岸の岩場にある全長20メートル余、幅3~5メートル、深さ7~8メートルの割れ目。人類税に苦しむ島では、人口制限のため村々の妊婦を集めて、このバリ（割れ目の意）を跳ばせるという残酷なことを行ったという伝説がつけられた地。一帯はクブラフリシと呼ばれ、景勝の地でもあり「久部良バリ一帯」として、県指定名勝となっている。（沖縄県歴史の道調査報告書6）





















































































































